

一般国道19号
けいちゆう
恵中拡幅(延伸)
(道路事業)

説明資料

平成30年1月29日

中部地方整備局
多治見砂防国道事務所

目 次

1.	一般国道19号恵中 ^{けいちゅう} 拡幅（延伸）の事業概要		
	(1) 事業目的	P 1
	(2) 計画概要	P 2
2.	評価の視点		
	(1) 事業効果の発現状況		
	①交通渋滞の緩和	P 3
	②物流の効率化	P 4
	③交通安全性の向上	P 5
3.	社会経済情勢の変化		
	①企業立地促進	P 6
4.	対応方針（原案）	P 7

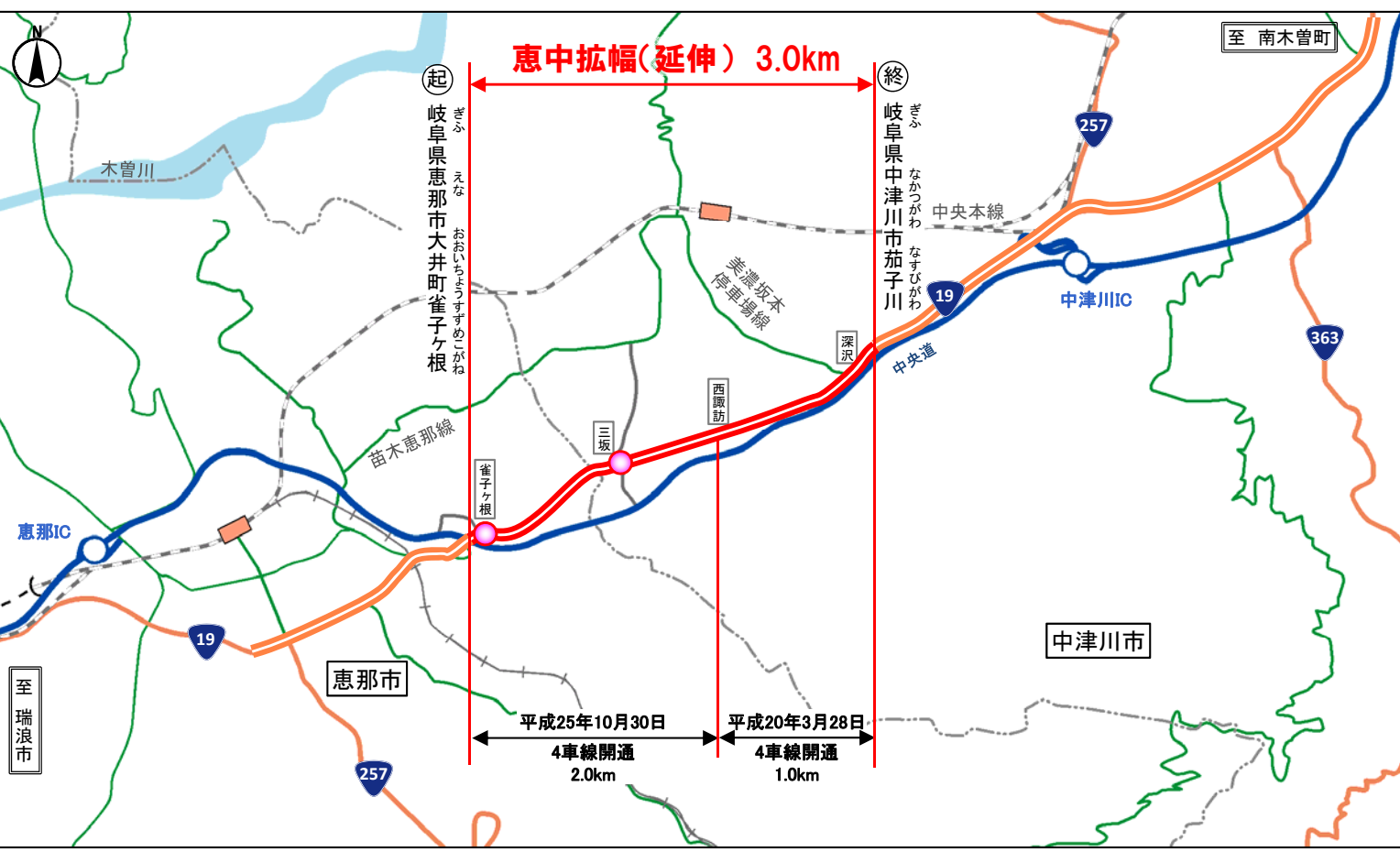
1. 一般国道19号恵中拡幅(延伸)の事業概要

(1) 事業目的

一般国道19号恵中拡幅(延伸)は、岐阜県恵那市大井町雀子ヶ根から岐阜県中津川市茄子川に至る延長約3.0kmの道路であり、国道19号の交通渋滞の緩和、交通事故の削減を目的に計画された4車線化事業です。

平成19年度に中津川市西諏訪から中津川市茄子川に至る約1.0kmが、平成25年度までに全線が4車線で開通しました。

恵中拡幅(延伸)の全体位置図



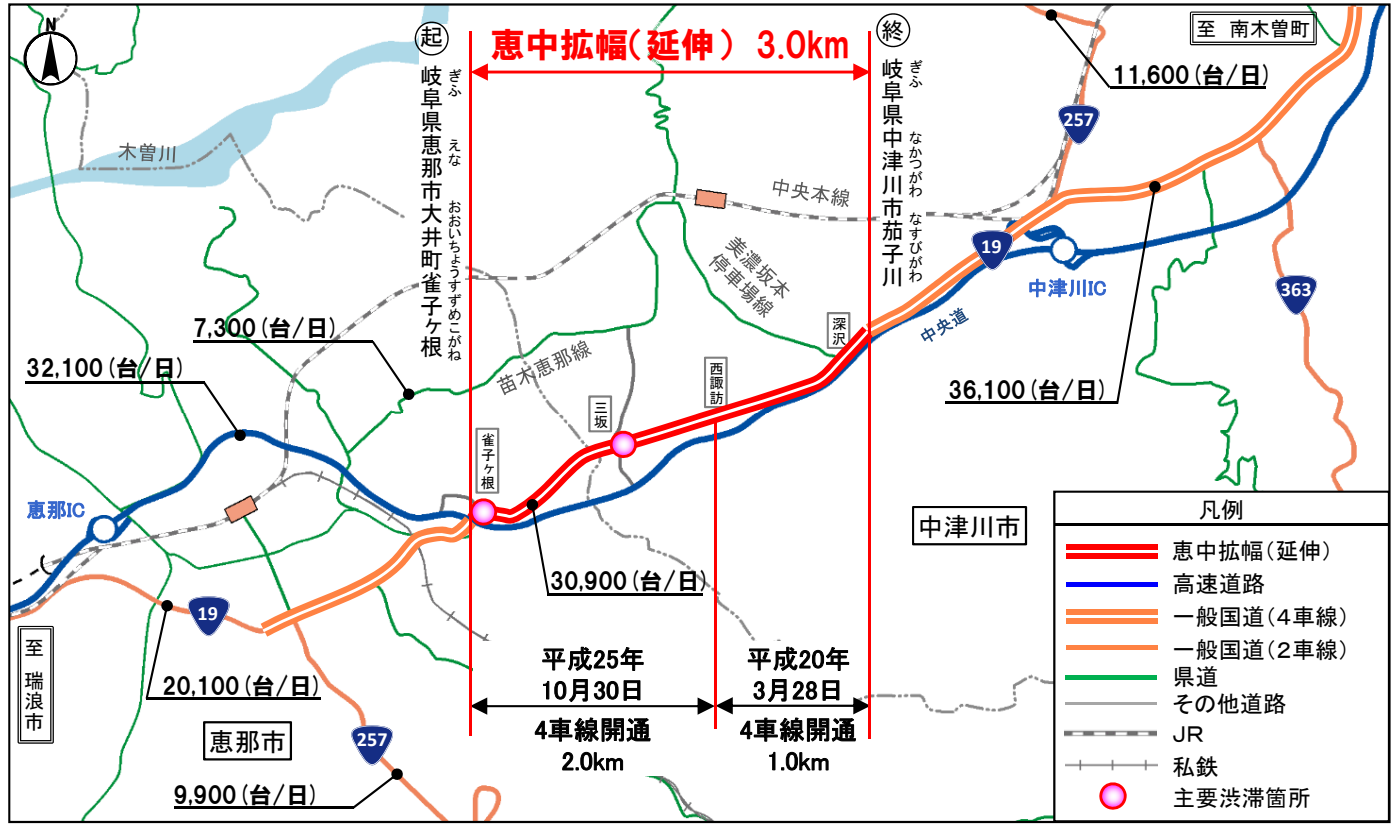
凡例	
	恵中拡幅(延伸)
	高速道路
	一般国道(4車線)
	一般国道(2車線)
	県道
	その他道路
	JR
	私鉄
	主要渋滞箇所



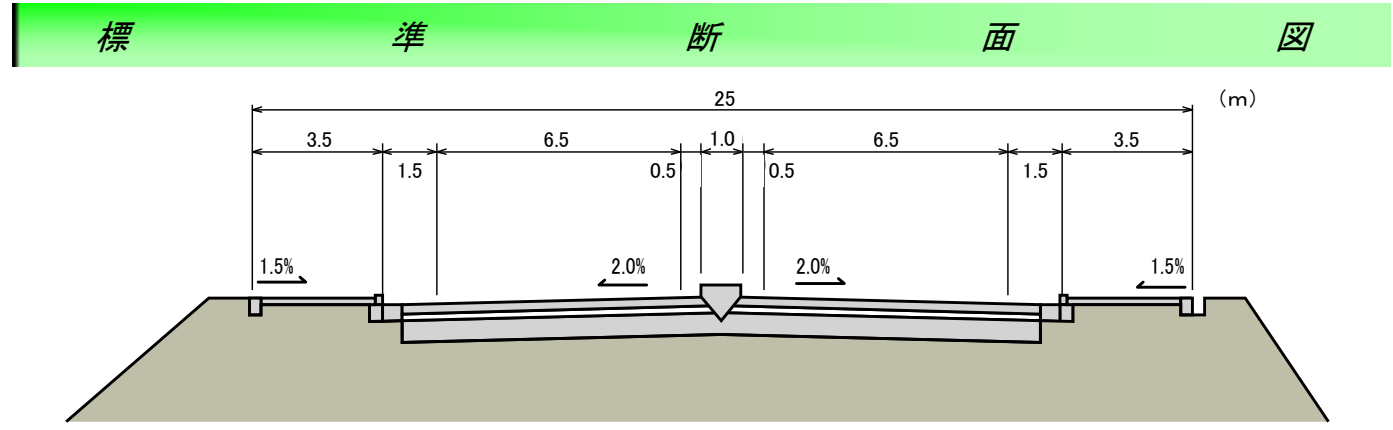
1. 一般国道19号恵中拡幅(延伸)の事業概要

(2) 計画概要

事業名	一般国道19号 恵中拡幅(延伸)
道路規格	第3種第2級
設計速度	60km/h
車線数	4車線
都市計画決定	昭和52年度
事業化	平成12年度
用地着手年度	平成12年度
工事着手年度	平成13年度
工事完成年度	平成25年度
延長	3.0km
前回の再評価	平成23年度 (指摘事項なし:継続)
全体事業費	167億円
B/C	2.0



出典: H27道路交通調査

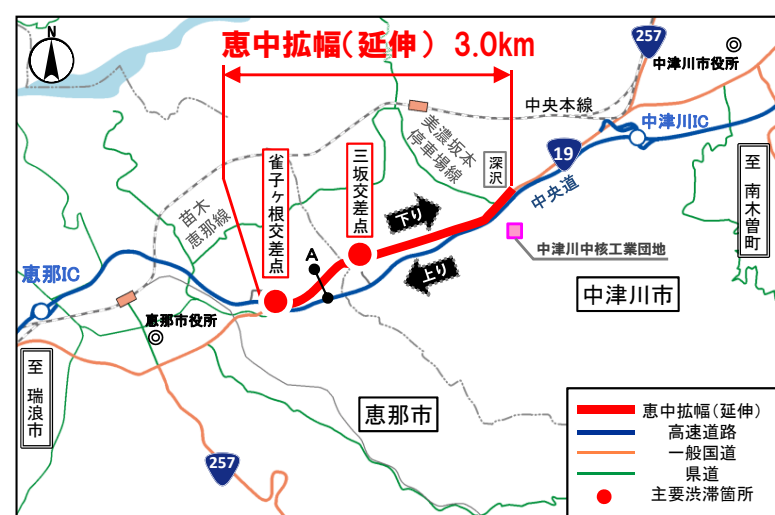


2. 評価の視点

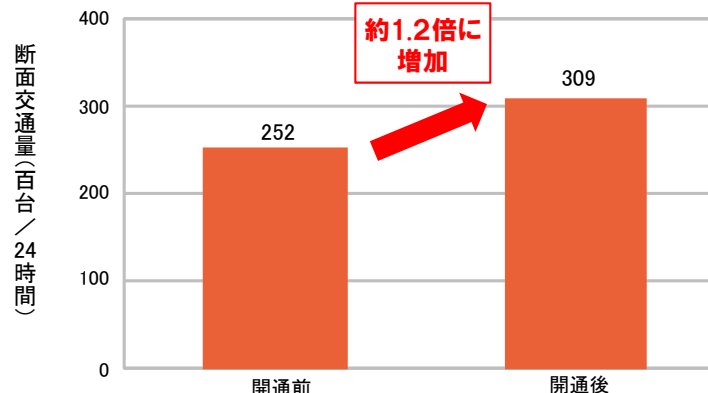
(1) 事業効果の発現状況

① 交通渋滞の緩和

- 恵中拡幅(延伸)区間の4車線化により、当該区間の旅行速度は33~38km/hに向上しています。
- これに伴い、恵那市から中津川市を結ぶ恵中拡幅(延伸)区間の所要時間が3割減少したことで、両市における企業からは、通勤時における時間短縮効果を実感する声を頂いています。



○ 恵中拡幅の交通量変化(A断面)



出典: 開通前…H22道路交通調査
開通後…H27道路交通調査

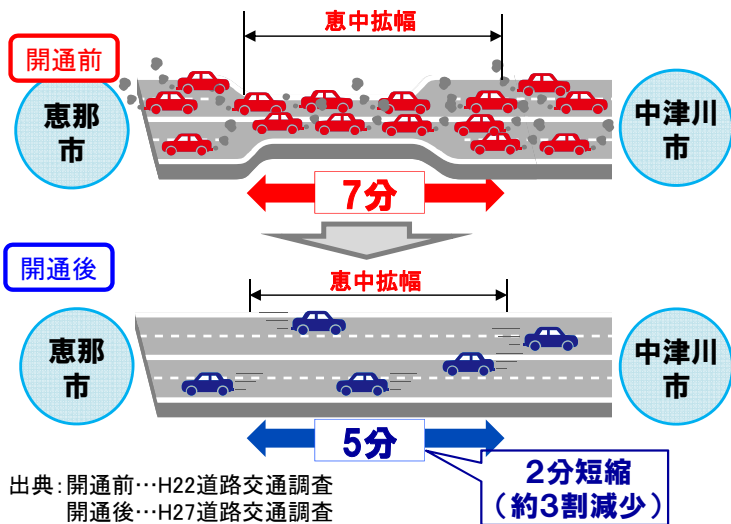
○ 地域の声

恵那市から中津川市へ通勤していますが、渋滞が緩和されたおかげで、開通前は裏道を使用していたが、開通後は国道19号を利用するようになりました。通勤時間が短縮して助かっています。

出典: 中津川中核工業団地内
企業ヒアリング結果:
A社回答(H29.1調査)

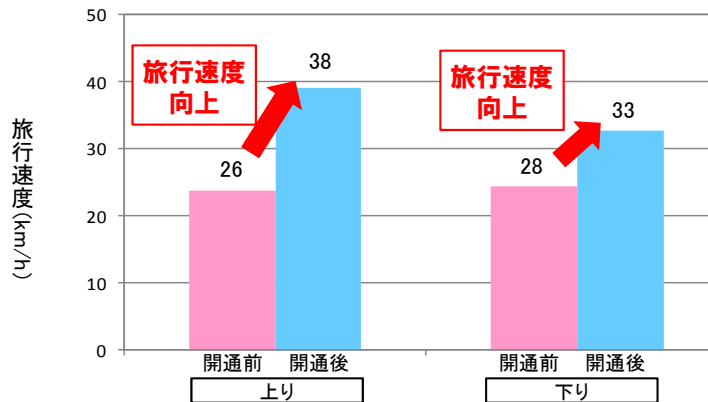


○ 所要時間の変化



出典: 開通前…H22道路交通調査
開通後…H27道路交通調査

○ 旅行速度の変化(A断面)



出典: 開通前…H22道路交通調査
開通後…H27道路交通調査

国道19号の渋滞が減ったことで、渋滞を気にせず買い物に行けるようになりました。お陰で、中津川から恵那方面へ買い物に行く機会が増えています。

出典: 中津川中核工業団地内
企業ヒアリング結果:
B社回答(H29.1調査)

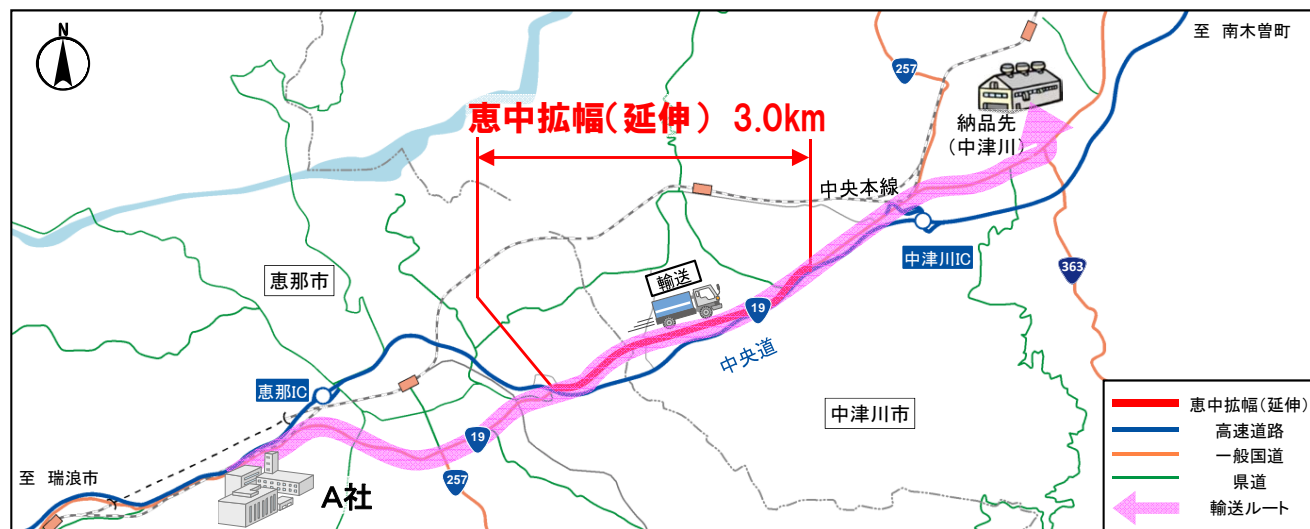


2. 評価の視点

(1) 事業効果の発現状況

② 物流の効率化

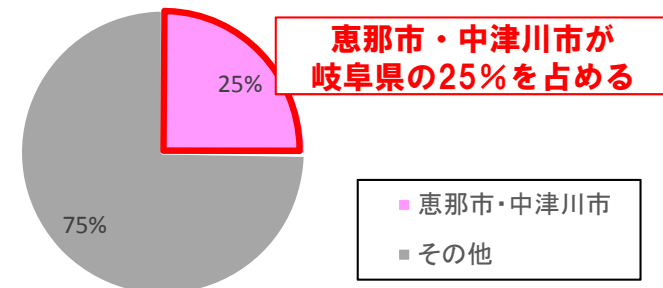
- 恵那市・中津川市はパルプ・紙製品の製造が盛んであり、同分類の岐阜県製造品出荷額の25%を占めています。
- 恵中拡幅(延伸)区間の4車線化により、工場から納品先までの定時性が確保され、予定時刻どおりの納品が可能になっています。



A社(株)

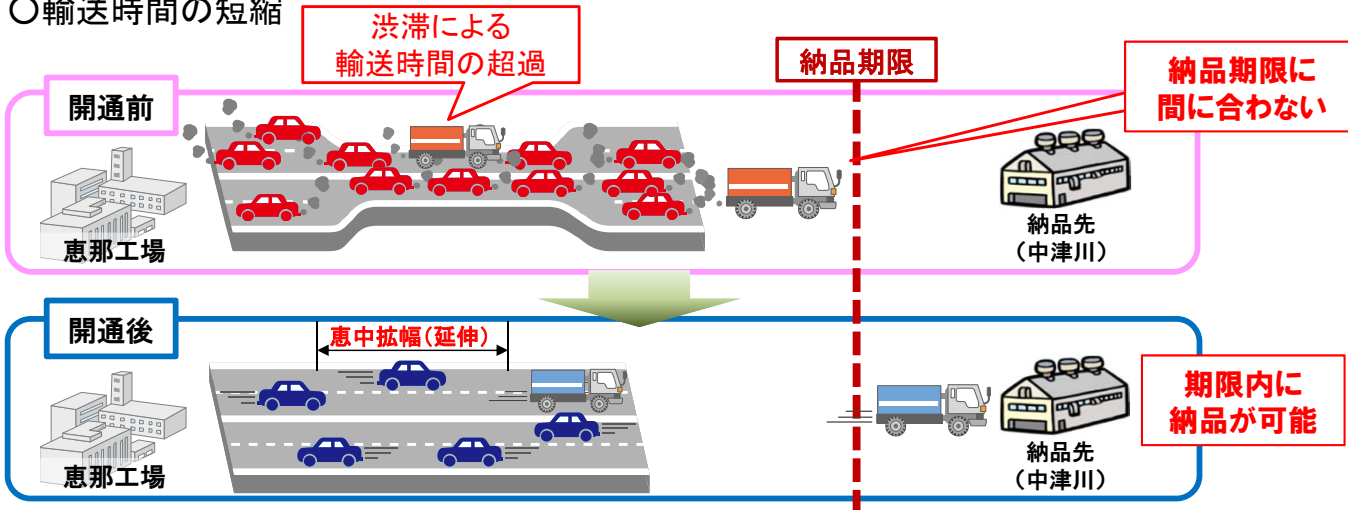
従業員数：120人
 主な製品：段ボールシート
 段ボールケース

○岐阜県製造品出荷額(パルプ・紙・紙加工品)の内訳



出典：H26工業統計調査

○ 輸送時間の短縮



以前は、国道19号が渋滞しているために、想定より輸送時間がかかる事がありました。そのため、納品期限内に間に合わず、とても困っていました。

恵中拡幅(延伸)の開通により、国道19号の渋滞が解消して、納品期限を守れるようになり非常に助かっています。また、走行性も良くなり、ドライバーの負担も減っています。

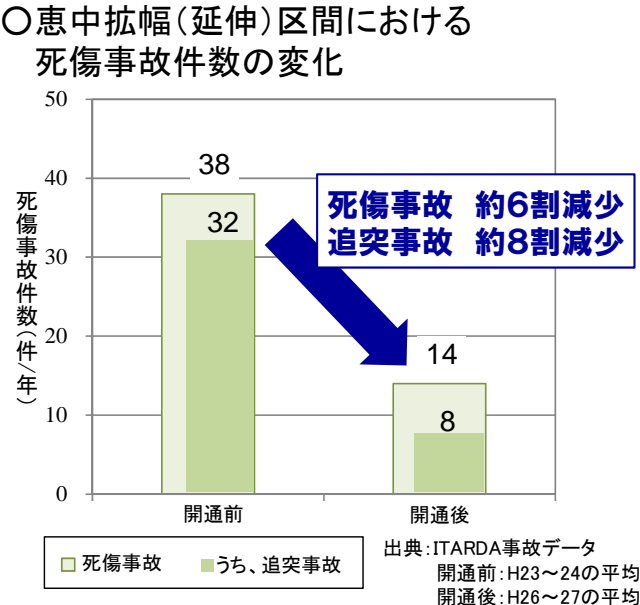
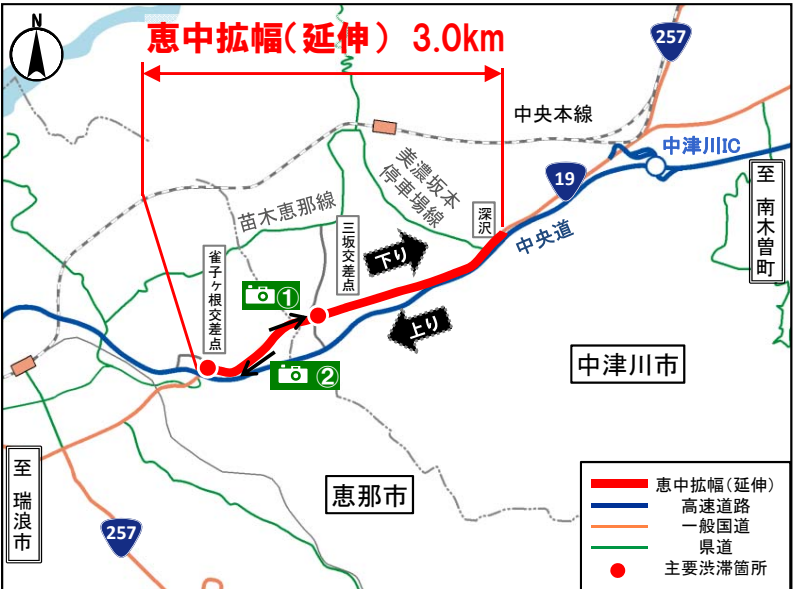


2. 評価の視点

(1) 事業効果の発現状況


③交通安全性の向上

■ 恵中拡幅(延伸)区間の4車線化により、主要渋滞箇所の渋滞解消に併せて死傷事故件数は約6割減少しています。
 ■ また、渋滞を起因としていた追突事故件数も約8割減少しています。




○ 地域の声

開通前の国道19号は、事故が多いように感じていました。4車線に拡幅されたことで、走りやすくなったし、渋滞も減ったので、事故も減少していると感じています。



(恵那市役所)

雀子ヶ根交差点付近は、事故の多い箇所であったが、事業実施後は事故が無くなり安全性が向上したと感じています。



(恵那市区長)

出典: 恵那市役所ヒアリング結果 (H29.1調査)

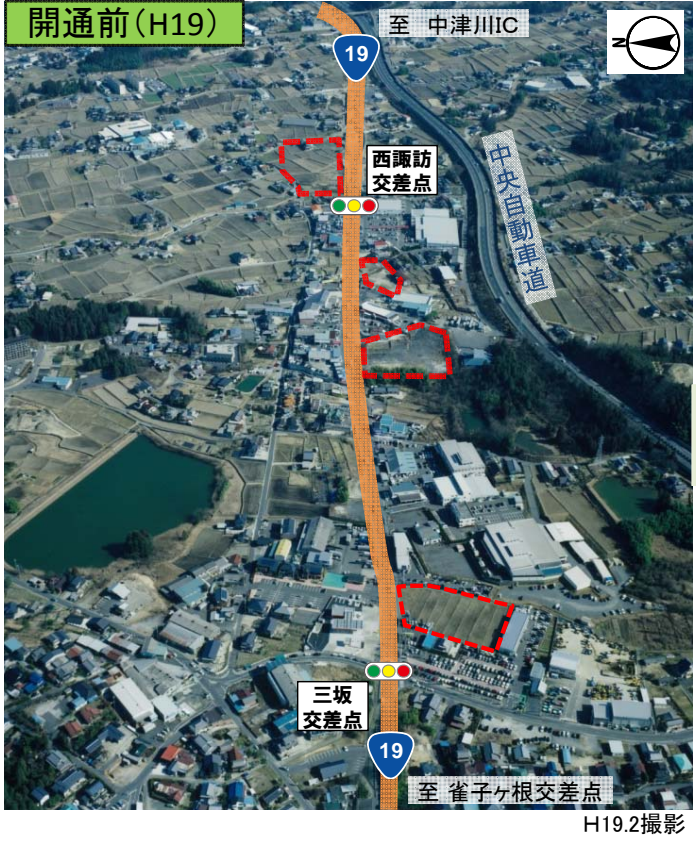


3. 社会経済情勢の変化

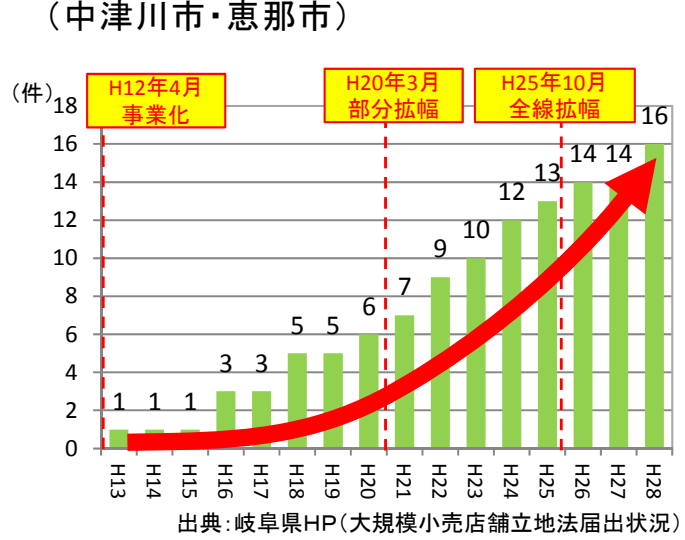
① 企業立地促進

■ 恵中拡幅(延伸)区間の4車線化と相まって、沿線地域における商業施設の立地が進展しています。
 ■ 商業施設の立地に併せて、中津川市、恵那市の有効求人倍率が約2.8倍に増加するなど、地域雇用にも貢献しています。

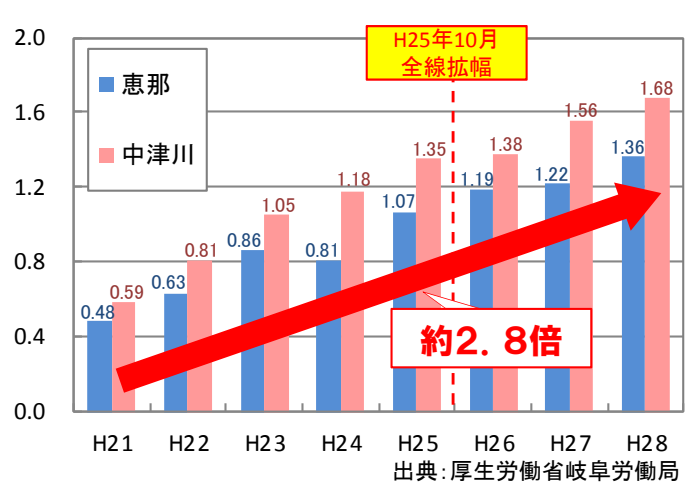
○ 恵中拡幅(延伸)周辺の商業施設立地状況



○ 商業施設の立地累積件数 (中津川市・恵那市)



○ 有効求人倍率



○ 地域の声

恵中拡幅(延伸)の整備により、沿道に飲食店や家電量販店などの商業施設が立地するようになりました。食事や買い物が便利になって助かっています。



出典: 中津川市在住者ヒアリング調査結果(H28.12調査)

開通後には、商業施設が多く立地するようになったおかげで、求人も増えています。



出典: 恵那市役所ヒアリング結果(H29.1調査)

4. 対応方針(原案)

(1) 今後の事業評価の必要性

- 一般国道19号恵中^{けいちゅう}拡幅(延伸)は事業が完了しており、整備目的どおりの効果が発現していることから、今後の事後評価の必要はないと考えます。

(2) 改善措置の必要性

- 一般国道19号恵中^{けいちゅう}拡幅(延伸)は、整備目的を達成していると判断できるため、改善措置の必要はないと考えます。

(3) 同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性

- 同種事業の計画・調査にあたっては、広域的な効果が発現するという観点で道路整備による多面的な効果の把握に努める必要があると考えます。

また、事業評価手法の見直しの必要はないと考えます。